



古屋司教認可
発行所 教区事務所
定価 一部 10 円
予約 一年 100 円

“新教皇を迎えて”

「私は世界平和を維持するため、可能な限り努力をし、またキリスト教一致を達成する課題に献身するつもりである。」

二十三世の意志を継ぐ決意を明かにされたものであります。
全世界のカトリック信者の一人として、私達、京都教区の信者も新教



教皇パウロ六世が教皇に選定された翌日、即ち六月二十二日全世界に向って登位最初のラジオ演説を行なわれた時、言明された言葉であります。それは演説の中に述べられているように教皇が今迄仕えられた三教皇、「打ち勝ちたい心の強さ」を持っておられたピオ十一世、「知恵に満ちた教えの光で教会を照らされた」ピオ十二世、および、「異例の善意の模範を世に示された」ヨハネ

皇に對し、心からの忠誠を尽くさなければなりません。教皇が御自分の使命をより完全に果されるために全世界の教会と信者各自が自覚を持たなければなりません。
教皇がピオ十二世在位中の一九五四年、バチカンの國務次官からミラノの大司教に任命された時、必らずしも当時のミラノの知識人達から喜びの中に迎えられたのではなく、寧ろ進歩的な為に疑問を抱かれていた

程でありました。
ところが、ミラノ大司教としての活躍は目を見張るものがあり、特に「労働者のいるところには常に司祭がいる」と申され、「労働者の大司教」と人びとから慕われるようになりました。各種団体の会合が同時に開かれる時は、優先的に労働者の会合に出席されたのであります。その一例によっても示されているように、新教皇は積極的に人々との接触を求めておられ、「教会が自らの権利の行使を禁じられている諸地域の兄弟たちと子らが、私を身近に感じるように希望する」と云う言葉によっても新教皇の横顔を見ることが出来るのであります。
キリストの後継者として歴代の教皇と同じ精神、即ちキリストの愛の精神に基いて今後の大任を果されることでありましよう。しかし、更に個性を活かし、最も現代に側した指導をして下さる事は疑いありません。
「宇宙の征服によって人類に開かれた時代は、もし、人びとが互いに相手を敵としてではなく、兄弟同士と見なし、そして神への畏敬、神法の尊重および、愛徳と相互協力との優しい光のうちに於いて、新しい世界秩序を打ち立てる場合においての

み、神から特別な祝福が与えられるであろう」と言明された新教皇の指導が漸次行なわれつつある事に私達は喜びを感じ得ません。
私達信者は新教皇の御指導の下に世界中の凡ての善意ある人々と共に全人類の幸福と平和の為にあらゆる努力を続けましよう。それは新教皇の言葉を実行することでありま

MEDITATION OF THE MONTH

“AND HE WAS TRANSFIGURED BEFORE THEM.”

Like the Figure of the Master was transfigured on Mt. Tabor, the grace of baptism has transfigured our souls and has made them “white as snow, as no fuller on earth can whiten.” (MarK, 9,2)

Let us by word, good example and sacrifice allow our light to shine before all men so that they too may one day receive the transforming grace of baptism.

月の黙想

主の御変容、

主イエズスキリストがタボル山上に於て、三人の使徒達の前で御変容なさったように、洗礼のお恵みは私達の靈魂を まっ白に輝き、この世の布さらしのなしえないほど、純白。なものに變えて下さいました。

(マルコ 9.2.)

私達も自分の言葉や、立派な模範と犠牲をもって凡ての人々を照らしましょう。その人達もやがては「人を変える」洗礼のお恵みを受けることでしょう。

堅信式

— 津教会 —

津教会においては、去る六月九日聖三位一体の祝日、午後三時より、パウロ古屋司教様の司式によって、堅信式が行われた。
この日、四十五名の信者がこの秘跡をうけ、聖霊とその七つの賜を豊かに頂き、選ばれた王の司祭衆、キ

リストの兵士となった。
これらの方々各自の受けた秘跡のお恵みに忠実に、今後益々堅い信仰と模範のカトリック信者の生活を以て、神様の御栄えを人々に示すようお祈りしよう。
津教会報「津の星」第五十八号より

(司祭)(野球)(大会)

夏の太陽が燦々として注ぐ七月八日(月)、伏見区深草田谷町の聖母女学院(スベール会)のグラウンドにおいて、大阪教区と京都教区の司祭の親善対抗野球大会が行われた。邦人司祭、スクート会司祭、御受難会司祭、スカボロ会司祭、オブレイト会司祭の大阪チームに対し、邦人司祭、メリノール会司祭の京都チームが奮闘し、接戦の末8対7で、大阪チームを破った。
大会後、すぐ隣りの伏見教会伝導館で、昼食をとった。終始なごやかな会で、楽しくその一日を過ごした。

司祭の異動

クリーツス・シュレーリッング師
松坂教会助任(六月二十七日付)
マーチン・コザレック師(西陣教会助任)
宇津・山国教会責任者(七月一日付)
リチャード・カーディアン師
彦根教会主任代理(七月十五日付)
〔エドワード・ウォルシュ師 休職中〕
デビッド・ケーシー師
高野教会(七月十五日付)
ジェームス・オニール師
津教会助任(七月十五日付)
ロバート・ライリー師
桑名教会助任(七月十五日付)
トマス・カリー師(西院教会助任)
長浜教会へ出張(日曜日)
(七月十五日付)
チャールス・ガコ師
四日市教会助任(八月一日付)
ジョン・ミニー師
衣笠教会主任代理(八月十六日付)
〔ジョージ・ヘーシベック師 休職中〕
グレン・マクドネル師
衣笠教会助任(八月十六日付)
ジェームス・ゴルマン師
善き牧者布教部係(九月一日付)

「幼稚園」の贈物に感謝

奈良 八木 教会

オーストラリアから大和高田市の市民へ幼稚園を贈った同国の善意あふれる人々の新聞記事を見て感激した奈良市の一女性、日ごろの生活に筆をとり、そうした善意の人達に、日本人の感謝の気持ちをあらわそうと、油絵三十号の大作二点を七月六日、大和高田カトリック教会に届け、近く豪州リスモア市と姉妹都市提携のために同国へ渡航する大和高田市長夫妻に託して、豪州の人に手渡すことになり、その記事が七月七日付朝刊各紙上に大きく報じられた。贈られる画は、キリストが日本人、白人、黒人の子供五人を手もとに抱き寄せた図で、人種的差別などはないことを力強くあらわし、豪州の子供にもよくわかるように写實的に描かれていた。もう一枚は、作者が得意のタッチで、十字架上のキリストを描いている。

豪州の多くの司祭は、白人優先の白豪主義の矛盾に怒りやんでおる、又、同国第一作家モリス・ウエスト(目下アメリカでのベストセラー「漁師の靴」の著者)も、昨年豪州カトリック雑誌で、白豪主義のおろかなる考えを強く非難している。こうした豪州の動きと、キリストにおいて人間みな平等であるということを、目下カトリック教理を勉強中の作者、奈良市登大路二番町十三、大庭ジツ子さんは、作品に添えて、次の様な自分の気持ちを、豪州の人々あてに手紙でしたためている。

この絵は私の心からなる皆様への贈り物です。皆様の多くの善意に比べれば、何とささやかなものでしょう。しかし、私は皆様方が日本姉妹都市である大和高田市に幼稚園の贈りものを下さることを、そして、その時の美しい献金の様子を、あなた方が、一番大切にしていられしやうなものまでも、惜しみなくささげられたことを、こちらの新聞で

拝見し、非常に心を打たれました。私は、それらの美しい行ないに對して、まことに小さいものですが、芸術家たらんとする者の最も大切に思ふ自分の作品を、感謝の気持ちと共に送り立て、お互いの心を通わせたいと願っています。本年、キリストの絵を描き続けてきました。中世に成長しました。しかるに、ルネッサンス以来、人間は、人間自身に目ざめ、神から一見離れ去ったように見られます。しかし、そうではありませぬ。眞実なものは、人の心をうつものは、時代を越え、流派を越え、もちろん国境を越えて存在するのです。芸術における眞実さは神における眞実さとも一致する筈だというのが私の考えです。私は、キリストを描きます。それは二十世紀に実

系集の第十三回関西プロテスタント大学カトリック研究会

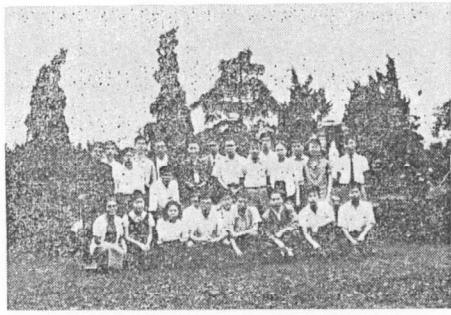
今回で三回目を迎えた関西プロテスタント系カトリック研究会の集いが、去る六月十六日、琵琶湖畔下坂本教会で開かれた。

この集いは、毎年定期的に開かれるもので、関西にあるプロテスタント系カトリック研究会(略称カトリック)がキリスト教であつてカトリックと宗派の違う大学にあるという結果、共通して持つ問題や悩みを、互いに話し合い、意見を交換し合つて少しづつでも解決してゆくと共に、折なり交換の時間を各カトリックの連帯感を強め、カトリックの発展を計ろうとして持たれる集いである。

現在、教会の再一致問題が大きな問題となつてゐるが、プロテスタント系カトリックは実際の、具体的なこととして、一致の必要性を痛感している。そういった点でも、この集

をするべきキリストを描くのです。生きてゐる「昔いま今」キリストを、苦しい時、悲しい時、神は我々を見捨てられたのでも、忘れられたのでもなく、我々が神を忘れてゐる時であることを、又、すばらしい喜び、歡喜、それは常に神と共にあることを思いいつ、今後も私はキリストを描くでしょう。

そして、神のために、お互いの国のために、遠く故国を離れて働いていられしやうなあなたの神父様方は、すばらしく、やさしく、美しい心の持主です。私は、多分オーストラリアの方々みんなが、その様な方であるようにさえ思つてしまふくらいです。



この成果は微々たるものであつても、意義があり、今後も根気よく続けたいものである。それには各カトリックが問題に対する正しい認識と努力をすることを要求されるのは云うに及ばないが、それ以上全体的カトリック者の、大学という一つの社会にあるカトリック

とを、今の世紀のために祈りたいと思ひます。

又戦争中の日本に残された不幸な混血児のために、道義的な責任をとろうと、国家として補助金を出してゐたのもオーストラリアが始めてであつた。いつかの新聞も報じていた。このことから、みな様方が、どんなにか良心的な心の持主かわかります。そして、再びあの様な不幸な子供たちをつくらぬために、平和を望みたい、すべての人が兄弟のように手を取りあつてゆかねばならないと思ひます。

向きあつたところの一つの窓に、夕辺になると灯がともります。(国と国がお互いに向きあつてゐるでしょう)そして、その住人が、美しい心の人であることがわかつた時、そのあたりは、つけられることに、一段と輝きを増し、心の中にあたたかいものがわき上るものでしょう。私たちが、あたたかい灯をつけ合ふねばなりません。みづからを照らすために、又、他人をも照らすために。そして、お互いのために離れていても、

理解と助力が必要なことである。

この集いは毎年、同志社大学、同志社女子大学、平安女子短期大学、関西学院大学、神戸女学院、梅花女子学院等の大学が参加するが、今年は同志社大学と関西学院大学の両校の参加のもとに開かれた。

当日は、生憎の曇空の下で、十時のミサで始まり、会員のユーモラスな紹介、昼食の後湖畔の美しい芝生でのゲーム等に興じた。その後討論会を行つた。先ず同志社、関西学院の両大学からそれぞれ「我々大学生について」というテーマでレポート発表を行ない、質疑応答、そして熱の入った討論が行なわれた。最後にベネディクションで締括りをした後、五時半頃散会した。(文責・戸田)

日本カトリック学生連盟第十六回全国大会

来る八月五日から十日まで名古屋南山大学に於て第十六回全国大会が

折り合う心をもつことができるでしょう。

美しい心は国と国との距離も、国精も、皮膚の色も、あるいは文化の違いも、伝統も、あらゆるものを乗り越えて、神を信じつつ、お互いに信じ合ひつつ、あらゆる人間的な条件を越えて、大きな愛の中で、一つの炎として燃え上ることができると確信します。

地上に平和を、輝かしい愛に満ちた平和を、

「家庭について」の講演会

京都家庭裁判所主任調査官荒川忠三氏が、六月三十日(日)に、「家庭について」と題して講演して下さい。非常に興味深い話で、午後八時から十時半頃まで、時間の経つのも忘れて聞きたい。

話の内容は、今、問題となつてゐる非行少年の実態についてであつた。「スリルと利己的な利己と興奮を求めて行なわれる少年の非行は、

去る六月十三日、聖体の祝日に、当西院教会では夕方六時から主任司祭によつて、御聖体が顯示され、七時から御聖体の前で、ミサが捧げられ、その後九時迄顯示が続けられた。

神様を忘れ、人の姿をもつて此の世に遣はされた神の御子を忘れてゐる現代、私達の小教区では出来るだけの方法をもつて、御子に對す、愛と礼拝と感謝を捧げたのである。

六月二十三日の日曜日の夜、何時もの如くビングの日が行なわれたが、余り暑かつたので伝道館前の広場で行なわれた。多くの人々が集り、勿論、全員が賞を受けることは出来なかつたが、皆心からゲームを楽しみ、一週間の義務から開放された和やかな一時を過ごすことが出来た。

編集室より

○お願い!! 内容が平凡なものになりますので、お気付きの事はどしどし御連絡下さい。

宛 先 京都市中京区河原町三条上ル下丸屋町 京都教区事務所内 教区時報係宛

○原稿の締切りは毎月十日まで。○記事は締切りの他に失敬、失敗質問、こぼれ話等もどしどし。○原稿については紙面の関係上当方で取捨することもあります。○御承知願う。

○どうしても記載を必要とする場合は其旨を明示して下さい。○紙面の都合上、内容がニュースに限られる傾向になりますことを御諒承下さい。